

全学学類・専門学群代表者会議 第二回本会議 議事内容報告書

作成者：松谷和哉

【日時】 2018 年 5 月 16 日(水)

【場所】 5C216

【出席】 全体 75 定足 38 出席 38 遅刻 3 早退 1

【資料確認】

配布資料一覧

- ・ 18201 『議事次第』
- ・ 18202 『履修申請期間中の授業への出欠席に関する要望』
- ・ 18203 『教育に関するアンケート集計結果』
- ・ 18204 『教育に関するアンケート集計結果（グラフ）』
- ・ 18205 『追加授業調査』
- ・ 18206 『教育に関するアンケート』

以上

【会議内容】

今回の第二回本会議では以下の議題を扱った

議題①:履修期間中の授業への出席に関する要望

以上

【資料訂正】

訂正箇所①18201

誤：第一回本会議

正：第二回本会議

訂正箇所②18202

前：「以降これを行わないことを・・・」

後：「履修の条件や成績評価の対象としない」

訂正箇所③18203

「4 分の 1 がほどが」

「4 分の 1 ほどが」

訂正箇所④18203 2.3

前：「全体でも 6 割ほど」

後：「全体でも参照している人数は 6 割ほど」

訂正箇所⑤18203 2.5

前：「数学類 2 年は・・・」

後：「参照している割合は数学類 2 年は・・・」

訂正箇所⑥18203 2.6

前：「全体のみ」

後：「全体についてのアンケート結果では」

≪議題①：履修期間中の授業への出席に関する要望≫

○教育環境委員会委員長・竹下が資料の読み上げ・説明を行った。

○本会についての補足を副議長・石川が行った。

本来であればこのような議題については、一度意見聴取会を設け、全代会員の意見を集めてから本会議行っている。しかし、今回は略式としていきなり本会議を行っているが、ご了承お願いしたい。

【審議】

○質問

資料 18202 本文について、最後に「以降これを行わないことを要望します。」とあるが次のモジュールからという認識で間違いはないか。（数学類・五十嵐）

●回答

以降と言うことなので、今年度の秋学期からこのような事を行わないように要望する。

「以降」が指す物が曖昧であるので、「次学期からこれを行わないことを要望します。」に改定する。（資料訂正②参照）（教育環境委員会委員長・竹下）

○質問

資料 18204 のアンケートに書かれている学年は去年のものか。（数学類・五十嵐）

●回答

その通りである。（教育環境委員会委員長・竹下）

○質問

資料 18203 の「4.結論」について、「kdb や manaba 等で初回から出席を取ると言うことについて告知を行うべきである」という内容と、今回の要望の「このような講義を行わないことを要望する」という内容が矛盾するのではないか。また、第 1 回・第 2 回はそもそも参加すべきでは無いだろうか。全 10 回の講義の内、2 回を取り除いてしまうと出席として認められるのだろうか。全ての講義において、初回から出席を取ってはいけなるとすることは不可能ではないか。さらに、資料 18203 の同章に「または出席点として有利に働くことは学生の興味・関心に応じた履修計画を阻害する」とあるが、学生側で事前に授業について調べることは出来るので、授業履修のフレキシブルな部分を認めた要望にすべきでは無いか。(生物学類・富田)

●回答

指摘の通りである。しかし、具体的にどのように行うかを明記して要望資料を作ると、逆に要望が分かりにくくなることを危惧し、今回はこのような資料にした。ただ、これだけで要望するというのも文言不足であるので、資料 18202 に具体的な実行例を提案する文面を追加する。(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

資料 18202 の文面について、「以降『これ』を行わない」という表記について、『これ』という表記が「授業」を指すと誤認されかねないのではないか。(日本語・日本文化学類・瀬邊)

●回答

資料訂正を行う。(上記資料訂正②参照)(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

資料 18203 の「4.結論」と資料 18202 に関して、「4.結論」では「初回から出席を取る行為は辞めるべきで、それが不可能であるならばシラバスなどで告知を行うべきとある」のに対し、資料 18202 には不可能な場合の対応策が記述されていない。これについてはどのように考えているか。(日本語・日本文化学類・瀬邊)

●回答

先程の回答と同じく、具体例を要望に入れすぎると、それによって要望の趣旨がずれてしまう可能性があるのでここには記載していない。(教育環境委員会委員長・竹下)

○要望

18203 の「2.アンケート結果 問 1」に誤字があるので訂正して欲しい。(上記資料訂正③参照)(生物学類・宇土)

●回答

訂正を行う。(上記資料訂正③参照)(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

資料 18203 の「4.結論」について、初回から出席を取る場合には、最低限 kdb のシラバスや manaba 上で告知を行う必要があると書かれているが、新入生は kdb や manaba に不慣れである。システム上不可能で無ければ、twins にも掲載できないか。(知識情報・図書館学類・和久井)

●回答

システムの改善で将来的には可能にしたいが、現状不可能であるとの回答を貰っている。(教育環境委員会委員長・竹下)

○要望

資料 18203 「2.3 アンケート結果」について、表現の訂正が必要では無いか。(上記資料訂正④参照)(生物学類・猪瀬)

●回答

訂正を行う。(上記資料訂正④参照)(教育環境委員会委員長・竹下)

○要望

資料訂正の黒板の文字が「成績」となっているので訂正お願いします。(日本語・日本文化学類・松下)

○質問

依頼内容を「シラバスへの初回授業の出席の有無についての明記」の徹底にした方が良いのでは無いか。(生物資源学類・十川)

●回答

資料提出の際にはシラバスへの明記の徹底についても文言を追加する。(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

具体的な告知の方法について、案はあるか。(生物資源学類・十川)

●回答

最も効果がある方法としては twins であるが、上記の通り実現に時間が掛かるので、具体的な最善策はまだ思いついていない。(教育環境委員会委員長・竹下)

○意見

具体的な情報の提示方法についても、再度アンケートをとってはどうか。(生物資源学類・十川)

●回答

今後の参考とする。(教育環境委員会委員長・竹下)

○要望

資料 18203 について、2.5 の章について表現の訂正が必要である。(上記資料訂正⑤参照)
また資料 18205 のアンケート結果の数字や A,B などの記号が何を指しているのかが分かりにくいので明記する必要がある。(情報メディア創成学類・相川)

●回答

訂正を行う。(上記資料訂正⑤参照)(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

資料 18203「4.結論」について、開設授業科目一覧に初回出席の有無の記載を行うべきでは無いだろうか。また、manaba での告知では、コース登録に時間が掛かるので有効でないのでは無いか。(数学類・五十嵐)

●回答

開設授業科目一覧への記載も効果的である。kdb だけでなく、開設授業科目一覧も追加する。また manaba については、確かに直前までコース登録が行われないケースもあるが、manaba のみが更新時に学生に連絡がある web システムであるので、確実に学生の目にとまるシステムであり、有効であると考えている。(教育環境委員会委員長・竹下)

○要望

資料 18203 2.6 章について、表現が分かりにくいので訂正を行って欲しい。資料訂正⑥

参照) (知識情報・図書館学類・中村)

●回答

訂正を行う。(資料訂正⑥参照) (教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

大学としては、履修申請中期間に出席を成績に反映することについてどのように考えているのか。(生物資源学類・石川)

●回答

確認していない。本来はそこまで調査を行うべきである。(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

大学側がこの件に関して良しとしていないのならば、大学側に「教員への注意勧告」を行う要請にすべきではないか。そもそも大学側が履修期間中の出席を良しとしていないのならば、告知を行っていても出席を取ってはいけなないのであり、それを容認してはいけなという話となってくるのではないだろうか。(生物資源学類・石川)

●回答

今後より調査を行う。(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

講義で成績をつける側である教員向けにも、本件についてどのように考えているかのアンケートも必要では無いか。(看護学類・小倉)

●回答

指摘の通りである。今後はアンケート前に検討を行う。(教育環境委員会委員長・竹下)

○質問

来年度以降、授業の出席点を成績に加味してはいけないという方針に変えるという話があるがそれについてはどのように考えているか。(情報メディア創成学類・松谷(オブザーバー))

●回答

数年前から、文科省からそのような通達があり、大学側もそれに従う方針ではあるが、実際の講義では教員の裁量で決めている点があるので、このような要望を行っている。(教育環境委員会委員長・竹下)

【議決】

承認 26 否認 1 保留 11

議題①は保留となった。

教育環境委員会委員長・竹下から保留・否認の者 11 名への理由確認を行った。

○副議長・菱沼

否認理由

問題設定にぶれがあるように思われる。目標と目的が一致しないのではないかと考える。一度問題設定自体から練り直すべきであると思われるため、否認とした。問題の範囲を狭めて議題を再提出すべきではないかと考える。

○人文学類・畠村

保留理由

アンケートをとる対象が少なく、データとして不適切であると思われる。提案自体は適切であるが、来年度にシステムが変わるのであれば、急いで承認すべき問題ではないと考えた。

○比較文化学類・関口

保留理由

来年のシステムの変化によって教員の対応がどのように変わるの調査を先に行うべきである。情報が多くない状態では議論が無駄になってしまうので、調査をし直して欲しいということで保留とした。

○日本語・日本文化学類・松下

保留理由

意見聴取会が無かったため、訂正後の資料の確認が出来ないのが不安。また、各学類で対応できる問題だと考えられるため保留とした。

○日本語・日本文化学類・瀬邊

保留理由

「今後も調査を続ける」という箇所がいくつかの意見に対して存在したが、その調査の内容によって意見が変わるため保留とした。

○日本語・日本文化学類・高松

保留理由

大学側の意向が正しく分かっていないため、保留とした。

○生物学類・富田

保留理由

同じく、学校の意向が分かっていないまま議論を進めると、前提として提案が成り立たないため保留とした。

○化学類・三浦

保留理由

アンケートへの回答数が非常に少ないため、学生の総意と考えられるかが不明、また改善点が多く指摘されたため、それを訂正してからでも良いのではないかと考えるため保留とした。

○情報メディア創成学類・相川

保留理由

要望とアンケート結果の結論が一致せず、調査し直して欲しいため保留とした

○情報メディア創成学類・矢島

保留理由

アンケートの回答数が少ないため保留とした。

○知識情報・図書館学類・四家

保留理由

学校側に提出する資料として、穴の無い資料を作るべきである。また緊急性がないため保留とした。

【委員会報告】

○議長団

以下の事を行った。同様の内容が slack の#conference に投稿されているので確認して欲しい。

連絡事項

- ・ランチミーティングを実施
- ・宿舎に新たに宅配ボックスが備えられた。5月9日から運用開始。
利用者は宿舎民に限定せず
- ・芸術系サークル会館が欲しい、古い施設の危険箇所を伝達。
(先方：写真欲しい)
- ・students 廃止予定(ネットだとみてもらえない)
その予算を学生便覧という冊子に投入、1年全員に配る
- ・福利厚生委員会のメンバーを決定(生環委を支援)
- ・学生生活支援室に議事録の送付
- ・学生生活課で全代会として挨拶
- ・座長団の委員会配属を追加実施

進行中

- ・関東鉄道バスとの話し合い日時決定(生環委を支援)
- ・茶話会の資料作成を開始
- ・報告がない学類等に対して催促
- ・クラス代表者議長に対して全代会新メンバー決定の挨拶メール
- ・紫峰会基金運営委員会の日程調整
- ・つくば市有識者会議出席者探し
- ・students への寄稿(議長 18 日まで)
- ・つくば市長との懇談会、打ち合わせ日程
- ・全代会室のあるべき場所について検討開始
- ・未決定分の座長団委員会配属

○総務委員会

- ・新入生への仕事説明
- ・会議の準備

○学内行事委員会

- ・学園祭実行委員会の事前執行案の赤入れ
- ・業務説明
- ・学園祭実行委員会との MT の予定

○教育環境委員会

- ・第一回 MT にて、現状の課題出しを行った。
近日中、チャイムのずれについて調査を行う。

○生活環境委員会

- ・明日委員会を行う。

○調査委員会

- ・第一回 MT にて、新入生への仕事の説明、本新歓日程調整を行った。

○広報委員会

- ・ Campus やど祭号、鋭意作成中である。
21 日に発行されるので広報をお願いしたい。

○実委に関する特別委員会

- ・ 学生生活支援室の先生方との話し合いを行った。
近日中に MT を行う。

【諸連絡】

- ・ 議長・四家からの諸連絡

つくば市有識者会議へ出席する学生を全大会員から募集している。

興味があったら slack で議長・四家まで連絡して欲しい。

名札に顔写真をつけるために、学生証のスキャンを行っている。

学生証をスキャンしも良いという人は四家まで教えて欲しい。

- ・ 副議長・石川からの諸連絡

ネームプレートの無い人は石川まで連絡をして欲しい。

・情報部門 Slack 担当・松谷からの諸連絡

まだ Slack に入っていない新入生は松谷まで連絡をして欲しい。